



平田ロータリークラブ 週報 ~ No.2281 (2023年5月18日)



2022-2023 年度

国際ロータリー会長 / ジェニファー・ジョーンズ
2690地区ガバナー / 友末 誠夫

会長 / 杉原 朋之
幹事 / 大島 淳司
副会長 / 清原 正幸
会計 / 小汀 泰之

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
5月18日	石原俊太郎 会員 佐々木哲也 会員	地区クラブ活性化ワークショップ 会員増強・公共イメージ合同セミナー、 ロータリー財団セミナー 報告
5月25日	会員増強・会員維持委員会	夜間例会 ～ 親睦趣味の会 (囲碁・お茶・ゴルフ)
5月28日 (日)	社会奉仕委員会	海岸清掃 (河下町垂水地区)
6月1日	休会	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
37	30	7 (3)	88.24 %

■欠席者

小汀 / 土江 / 園山 / 持田祐 (高砂 / 牧野 / 黒田)

■来訪者

なし

■メイクアップ

5/14 清原・松浦・佐々木・石原 (地区クラブ活性化ワークショップ)
5/17 遠藤 (大社)

■次回例会受付当番

(6月8日) 遠藤 寛 / 高砂明弘 / 田中浩史
(6月15日) 林 浩司 / 土江光二 / 恒松克己

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	6/19	5/29・6/26(-)	松江南	6/19・26
火	出雲	6/20	6/27(-)	松江しんじ湖	6/20・27
水	大社	5/31(-)		松江	6/21 5/31・6/28(-)
木		(-) ; ビジター受付	なし	松江東	6/15 6/22・29(-)
金	出雲南	6/9・16・23			

■会長挨拶

みなさんこんにちは……

この間久しぶりに野球部の後輩とその娘さんに会う機会がありました。その娘さんと実際に会うのは3年くらいぶりだったのですごく大きくなって、「何歳になったの?」って聞いたら、「この前誕生日だったの。12歳になったよ。もう12歳だよ!」って、すごく誇らしそうに教えてくれました。

私も今日58歳の誕生日を迎えましたが、もう自分の誕生日が来ても特に嬉しくないし、自分の年齢を誇りに思ってもいないのですが、自分が大きくなることを嬉しく誇らしけているその子を見て

「年を重ねることは嬉しいことだ。」と改めて気づかされました。何歳になっても成長する気持ち、ワクワクする気持ちを持ち続けたいなと思いました

■幹事報告

1. ローターレートの変更 5/1より1ドル136円 (現行133円)

2. 次年度会員名簿(手帳)作成にあたり、今年度名簿に変更のある方は事務局までご連絡下さい

3. 新会員候補者紹介

園 敬司 様 S55(1980). 5. 9 生
株式会社ソノ 代表取締役 社長

クラブ細則に従い 異議のある方は、本日より7日以内に書面をもってお申し出下さい。

■理事会決定事項

5/8(月)開催

・大谷厚郎会員 旭日小綬章受賞について
会として御祝をする。金5万円。

承認可決

・コロナ対応について

5月18日の例会よりWEB例会の中止。

受付での体温測定中止。

次年度より、例会場を円卓スタイルに戻す。

承認可決

5/18(木)開催

・園山会員 県議会議長就任について

政治的なことなので、会として御祝いはいししない。

承認可決

■委員会報告

出席・親睦委員会 :

5月の会員誕生・

伴侶誕生・

結婚記念 祝い



職業奉仕委員会 : 4つのテスト 唱和

情報・雑誌委員会 : ローターの友 5月号の紹介

社会奉仕委員会 : 14日(日)海岸清掃事業当日中止のお詫びに併せ
延期日のご案内

5月28日(日) 7:30~海岸清掃(河下町垂水地区)
詳細につきましては後日ご連絡

■スマイル

杉原 (大谷厚郎会員旭日小綬章、園山繁会員議長就任 おめでとうございます。河下奉仕作業私の判断ミスで皆様にご迷惑をおかけしました。次回予定しておりますのでご協力の程宜しく願います。次期会員増強、公共イメージ、ロータリー財団合同セミナー報告、よろしく願います。)

大島淳 (大谷会員旭日小綬章、園山会員県議会議長就任おめでとうございます。

本日の例会行事、セミナー報告よろしく願致します。)

恒松（大谷様、園山様おめでとございます。）
 飯塚大（大谷様おめでとございます。園山様おめでとございます。）
 原伸・神田（大谷厚郎会員、旭日小綬章おめでとございます。
 園山繁会員、議長就任おめでとございます。）
 松浦（園山会員、島根県議会議長就任おめでとございます。
 益々のご活躍をご祈念致します。）

榎野・飯塚・清原・石原
 （園山会員の島根県議会議長就任を祝して。）
 大谷厚（この度の私の叙勲受賞に際し、皆様方からご丁寧なるご祝意を賜り厚くお礼申し上げます。）



例会プログラム

地区クラブ活性化ワークショップ 報告

日時: 令和5年5月14日(日) 場所: くにびきメッセ

会員増強・公共イメージ部門 石原 俊太郎

国際ロータリー第 2700 地区広報・公共イメージ委員会/DX 推進委員会
 地区委員長、田村志朗氏(福岡東 RC)を講師にお迎えしてのセミナーでした。

講演内容

全国各クラブ共通で会員数は減少しており、会員増強は喫緊の課題である。

会員増強のポイントは、①プッシュ型、②プル型、③衛星クラブの 3 つがある。それぞれの特徴を活かして取り組んで頂きたい。

①プッシュ型とは、これまで多くのクラブで取り組んできた「候補者に個別に当たっていく」やり方である。会員が協力してリストアップすることが大切。新しい取り組み方法として、例会をオブザーバー参加して体験してもらうやり方があるが、入会率は約 1 割くらいである。

②プル型とは、クラブの公共イメージを向上させ、向こうから入会したいと思わせるやり方で、まさに広報・ブランディング戦略である。奉仕活動を PR することももちろん大事だが、例えばこれまでの著名なロータリアンを一般の方は知らない。ウォルトディズニー、トーマスエジソン、カーネルサンダース、松下幸之助など著名人を紹介することで公共イメージを向上させることができる。

③衛星クラブは若い人にとって入会しやすい方法である。若い人たちも奉仕活動をしたいと思っているが、入会の障壁は「お金がない」「時間がない」「仕事の余裕がない」の三点。これらを克服するために衛星クラブは「会費を運営費のみで安価に設定」「週2回」「依る 19 時からの開催」「例会のみ食事なし」としている。また 8 名でクラブを設立できる。5 年後には親会に入会することを前提としている。ハードルを下げ、間口を広くして様々な人間を幅広く取り込んでいく方法なので、各クラブでぜひ検討して頂きたい。

ロータリー財団部門 佐々木 哲也

資料に基づき、説明

ロータリー財団 2021-22年度 寄付総額 世界上位5か国 (単位: 米ドル)

1	アメリカ	203,801,215
2	インド	26,432,498
3	韓国	25,809,446
4	日本	18,735,738
5	台湾	16,028,956

ロータリー財団 2021-22年度 地区別寄付 (単位: 米ドル)

地区	会員数	1人当たりの 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の 基金	合計寄付額
2690	2,897	173.28	501,987.36	99,146.21	53,475.53	4,095.00	658,704.10
合計	83,600	169.91	14,204,288.69	2,336,772.18	2,042,663.30	123,519.33	18,707,243.50
順位	8位/34地区	12位/34地区	9位/34地区	8位/34地区	17位/34地区	10位/34地区	9位/34地区

日本のロータリー財団 2023-24年度 目標

年次基金	・1人当たり150ドル ・年次基金寄付ゼロクラブ ゼロ達成を継続する ・Every Rotarian Every Year (年次基金への寄付) の推進 ・ポール・ハリス・ソサエティの推進 (各地区+30名目標)
ポリオプラス基金	・1人当たり30ドル (1,500ドル以上寄付したクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)
恒久基金	・冠名基金を各地区1件以上設立 (個人・クラブ・地区いずれも可)
大口寄付	・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本で100件 ・「大口寄付0地区」ゼロを目指す ・アーチ・クラブ・ソサエティ (AKS)を日本全体で10名増やす。中期目標として、2~3年で「AKS 0地区」ゼロを目指す
地区財団活動資金 (DDF) の活用	・各地区期末DDF残高ゼロを目指す ・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈 ・ロータリー平和センター、7つの重点分野への寄贈
奉仕活動の推進	・「世界ポリオデー」に地区やクラブでイベント企画、実施 ・グローバル補助金、地区補助金の活用を促進 ・ロータリー平和フェローシップの推進

年次基金とは、

- ・ロータリー財団の年次基金は、地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です
- ・ロータリー財団では、寄付の3年後にその資金をプログラムに使用する独自の3年周期システム (シェアシステム) を採用しています。



恒久基金とは

ロータリー財団の恒久基金は、1982年に設置

【恒久基金設置の目的や理由】

- ・増え続ける奉仕活動を末永く可能にすべく、その活動資金を恒久的に確保し財政を安定させる
- ・恒久基金への寄付は、元本は使われることなく投資集積のみが活動資金に役立てられる



2021~22年度における寄付金は主に、クラブ提唱プロジェクト: 39%、奨学金: 18%、ポリオプラス: 16%などに活用されており、その他には事務費: 2%、くりこし: 11%などです。

次年度も、ロータリー財団への寄付にご協力をお願いします。